

「サロン9条」第352回例会 4月27日(火) 参加者13名

テーマ「東京五輪はこのまま開催してもよいのだろうか？」

話題提供:吉田千秋さん(元岐阜大学教授・哲学)

第352回「サロン9条」例会が、4月27日に開催されました。コロナ感染者が上昇中なので、参加者は少なく13名でした。

テーマは、東京五輪開催問題です。最初に、開催に疑問を投げかけたジャーナリストの青木理さんの録音を聞きました。

その上で、吉田千秋さんから、筋道だった話題提供が行われました。吉田さんはまず、この東京五輪の招致が嘘と買収疑惑から始まり、「復興五輪」どころか、「復興阻害五輪」であったことを指摘されました。

続けて、「コロナに対する勝利の証」というスローガンに切り替えたが、これも実際には、「何が何でも開催」という、いのち・人権の軽視の「コロナ終息阻害五輪」になり、即座に「開催中止」の判断を下さないと、悲劇が起こると批判し、今後、五輪憲章に基づいた改革の議論を呼びかけました。

参加者からも様々な角度からの疑問や意見が出されました。医療崩壊状況なのに看護師500名の派遣要請はまったくおかしい、聖火リレーの強行は実際には協賛会社の宣伝活動だ、池江選手の活躍を利用するなど特にマスコミの煽りがひどい、反対だけれど言い出しにくい、など。でもできるかぎり声を出していかなければならないと結んで終わりました。